

第2章 医療

この結果は、平成30年10月1日から1年間における医療施設の開設・廃止等の動態状況をとりまとめ、令和元年10月1日現在における福岡県の医療施設の状況としてとりまとめたものである。

1 施設数

(1) 病院

令和元年10月1日現在の本県の病院数は459施設である。

施設数について全国、九州各県と比較すると、人口10万対施設数は、全国の6.6施設に対し、本県は9.0施設となっており、全国では第14位、九州では第7位である。

また、病院の種類では、一般病院が398施設で全病院の86.7%を占めており、精神科病院は61施設となっている。

療養病床を有する病院は215施設で全病院の46.8%を占めている。

(2) 一般診療所

令和元年10月1日現在の本県の一般診療所数は4,713施設である。

施設数について全国、九州各県と比較すると、人口10万対施設数は全国の81.3施設に対し、本県は92.3施設であり、全国で第9位、九州では長崎県に次いで第3位となっている。

(3) 歯科診療所

令和元年10月1日現在の本県の歯科診療所数は3,081施設である。

施設数について全国、九州各県と比較すると、人口10万対施設数は全国の54.3施設に対し、本県は60.4施設となっており、九州で第1位、全国では東京都(76.6施設)、大阪府(62.6施設)に次いで第3位である。

2 病床数

(1) 病院

令和元年10月1日現在の本県における病院の病床数は83,874床で、前年に比べ1,248床減少した。

人口10万対の病床数について全国、九州各県と比較すると、全国の1,212.1床に対し、本県は1,643.3床となっており、全国で第11位、九州では第7位である。

療養病床については、19,122床であり、前年に比べて1,390床減少しており、全病床の22.8%となっている。

(2) 一般診療所

令和元年10月1日現在の本県における一般診療所の病床数は7,057床で、前年に比べ297床減少した。

人口10万対の病床数について、全国、九州各県と比較すると、全国の72.0床に対し、本県は138.3床となっており、全国で第12位、九州では第7位である。